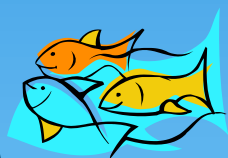


川の科学 参加生徒募集のお知らせ

～環境にやさしい公共施設(グリーンインフラ)を考える～

コンクリートで作られた従来のインフラ（公共施設）は自然物でないため、環境を大きく改変させ、生物多様性の低減など大きな懸念事項となっています。今回の実習では、現地でインフラ施設を実際に体感することで、インフラの役割や享受している恩恵を再確認します。そして、自然環境との関係を考えながら、今後のあるべきインフラの姿を高校生の視点で考えてもらおうと考えています。



そこには、単に科学技術の観点だけではなく、街づくり、防災、人々のかわりという大きな視野が必要です。文系・理系・学年を問わず環境問題に興味の人は参加してみませんか！ 地域規模、地球規模で環境問題を考えるための多くの視点が得られる貴重な体験となると思います。

実施日：7月25日（水）
～26日（木）
1泊2日

定員：20名
場所：東秩父村・槻川流域
予定：6月、7月に事前活動



この事業は、河川の自然調査や測量などの環境アセスメントを行っている（株）建設技術研究所の協力を得て実施します。企業ではたらく研究者と共に、環境問題について幅広く学んでみませんか？